

小型微利企業の企業所得税、実質 5%の優遇を活用できていますか？

2025 年度も第 3 四半期が終わり、年末に向けて業績を整理する時期となりました。
このタイミングで確認しておきたいのが、中国で実施されている「小型薄利企業」に対する
企業所得税の優遇制度です。

この制度は、中小企業の税負担を軽くすることを目的としたもので、一定の要件を満たす
企業は企業所得税の実質税率が 5%に軽減されます。
対象となるのは、年間の課税所得が 300 万元以下、従業員が 300 人以下（派遣社員を含む）、
資産総額が 5,000 万元以下の企業です。
要件を満たしていれば、特別な申請は必要なく、企業所得税の申告時に自動的に適用されます。

通常税率は 25%であるため、この優遇を適用できるかどうかで税負担は大きく変わります。
年間の課税所得が 300 万元を超えると課税所得全体に通常税率が適用されるため、
今の時期に利益水準を確認し、年末の見込みを把握しておくことが大切です。
想定より利益が増えている場合は、設備投資や従業員への還元など、将来につながる支出計画を
早めに検討しておく心安です。

この優遇は 2027 年末まで継続される予定です。
該当の可能性のある企業は、四半期決算の結果を踏まえ、要件を満たしているかを確認し、
実質 5%の軽減税率を確実に活用しましょう。

私たち愛知県江蘇省サポートデスクでは、現地で事業展開をされている愛知県企業の皆さまに
とって有益な情報をお届けするとともに、企業同士のつながりや情報交換の機会を広げていける
よう努めてまいります。今後も、皆さまの課題や関心に寄り添った情報提供や交流の場づくりを
進めてまいりますので、ぜひご活用いただければ幸いです。